



08

日本の 人材ビジネス

HR business overview in Japan

新領域サービス

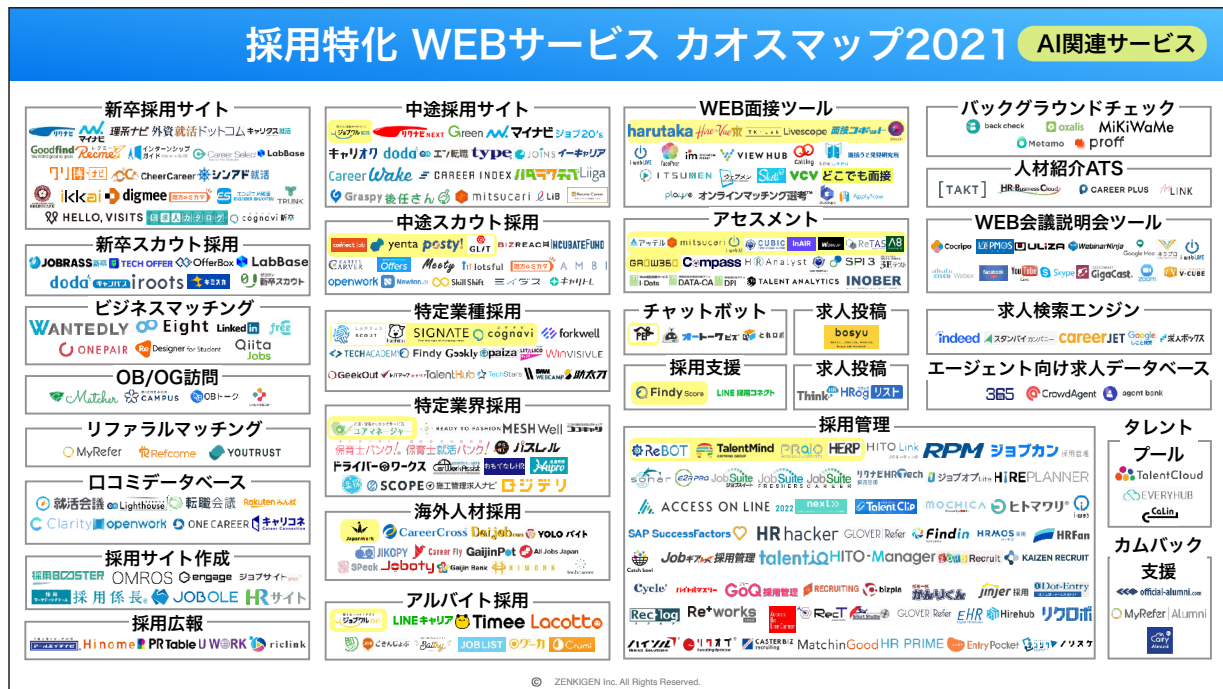
08 新領域サービス

特定分野を中心とするオンライン人材サービスが拡大

人材ビジネス業への相次ぐ新規参入によって競争が激化するなか、吸収合併という手段で事業の拡大と安定を図る企業が増える一方で、新たな領域に着手する企業がある。とりわけ、ここ数年の間に目立つようになってきたのが、ニッチや対象領域を限定したオンラインの人材サービスである。

下記のカオスマップにあるように採用に特化した AI 関連サービスだけでも多種多様である。

採用特化 WEB サービス カオスマップ 2021

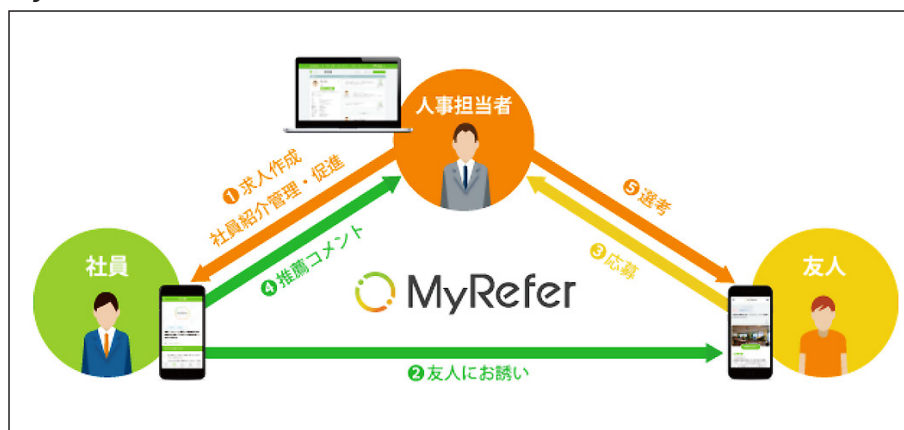


出所：採用 DX サービス harutaka サービスサイト <https://harutaka.jp/document/dxchaosmap> (last visited October 4, 2021)

オンライン人材サービスのなかで、代表的なものをいくつか紹介すると、リファラルマッチングのMyRefer、リファレンスチェックのback check、農業に特化した求人サイトの「農家のおしごとナビ」などだ。

MyRefer は、低単価で質の高い候補者を採用するリファラルリクルーティングプラットフォームを運営して、企業の社員紹介採用を支援している。リファラルに特化した人材サービスは米国では比較的古くから発達しているが、日本ではまだ新しい領域だ。今後、この領域に進出する企業が増えていくと予想される。

MyRefer の仕組み



出所：MyRefer ウェブサイト <https://i-myrefer.jp/> (last visited September 12, 2021)

リファレンスチェックのback checkは、これまで外資系企業では一般的だが、日系企業ではあまり浸透していなかったリファレンスチェック¹を採用企業に代わって行っている。リファレンスチェックにはミスマッチやスキルギャップを削減するという利点がある一方で、情報の裏付けなどに時間がかかるという欠点もあるが、同社は独自のアルゴリズム分析を使いつつ、候補者への依頼からレポート作成までを短期間で行い、効率的で効果的なサービスを提供している。

「農家のおしごとナビ」は、農業求人や農業への転職に関する情報を提供するサイトだ。農場見学会や農業就業体験に関する情報も掲載しており、他業種から農業への転職を希望する人に役立つ情報が満載である。

¹ リファレンスチェック(またはバックグラウンドチェック)とは候補者の実績や在籍期間、人物像などの、書類や面接ではわからない情報を第三者から得ることをいう。

SNS を活用した求人情報の提供——進化型ソーシャルリクルーティング

Facebook や Twitter といったソーシャルネットワーキングサービス(SNS)の利用者が拡大するのに比例して、SNS を活用して求人活動を行う企業が増えてきた。それと同時に、こうしたソーシャルリクルーティングと言われる分野を専門に就職情報を提供する会社が増えつつある。

ウォンテッドリーが運営する Wantedly は 2012 年から、Facebook と連携してエンジニア職やデザイナー職を中心に就職情報を提供している。ユーザーが Facebook にログインして Wantedly に登録すると、ポートフォリオが作成される。検索ページからキーワード等を設定して企業を検索し、興味のある企業があれば、企業ページ上にある「話を聞きに行きたい」をクリックし、エントリーする。一般のエントリーよりも気軽にできるのが人気のようである。

また、Donuts はクラウド型サービスの「ジョブカン」というサービスを運営しているが、2020 年 9 月から「ジョブカン採用管理²⁾」を「求人情報 on Facebook」と連携させている。このツールで作成した求人情報は自動で Facebook 内の「求人情報 on Facebook」に掲載される。求職者が Facebook を通じて応募すると、情報がジョブカン採用管理に自動提携され、応募経路が「直接応募(求人情報 on Facebook)」と記録される仕組みになっている。

ソーシャルリクルーティングと連動させたサービスを提供する企業は、今後さらに増加し、利用者も拡大していくと考えられる。

ネットやスマートフォンを使った短期アルバイト情報提供

フルキャストホールディングスの事業子会社であるおてつだいネットワークスが運営する会員制の「おてつだいネットワークス」や、ヤフーとリクルートが共同出資して設立したツナググループ・ホールディングス(旧インディバル)が運営する「ショットワークス」といった短期アルバイトを中心とする採用支援サイトが需要を拡大している。

「おてつだいネットワークス」は、単発バイト専門の求人サイトで、スマートフォンや携帯電話の位置情報を利用して、緊急に短期的なヘルプが必要な募集企業と、空いている時間の有効活用を求めるワーカーをリアルタイムで効率的にマッチングするプラットフォームを提供している。2006 年 4 月に携帯電話 au の公式サイトとして求人サービスを開始した後、docomo、SoftBank へと次々とサービス範囲を拡大している。2021 年 8 月現在の登録者数は約 100 万人である。なお、募集掲載は無料で、採用となったときの料金プラ

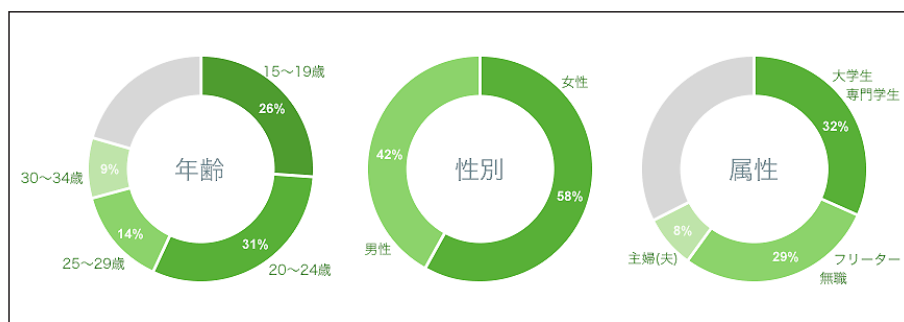
²⁾ ジョブカン採用管理は応募者の獲得から採用までを一元管理できるクラウドサービス。

ンはそのつどプラン(1名採用毎に3,000円(税抜))とあんしん定額プラン(月額30,000円(税抜))がある。

一方、「ショットワークス」は2006年にスタートした短期・単発専門のアルバイト情報サイトで、2021年6月時点の登録ユーザー数は200万人以上に上る。ショットワークスの利用者の多くは、大学生やフリーターで、10代と20代で70%を超える。企業は基本料として月額30,000円等(関東エリアプランの場合)を支払う必要があるが、求人情報の掲載は無料で、雇い主が応募者の個人情報を閲覧した時点で課金される(1件2,500円から)。

ツナググループ・ホールディングスは、デリバリー・配達・配送の短期バイトに特化した「Shotworks デリバリー」や、コンビニエンスストアでの単発のアルバイトに特化した「Shotworks コンビニ」などを展開しているほか、日本で働きたい外国人のための会員制お役立ちサイト「ニホン de バイト」や働きたい曜日と時間でアルバイトを探せるアルバイト情報サイト「シフトワークス」も運営している。

ショットワークスの利用者に関するデータ



出所：ショットワークスウェブサイト <https://shotworks.jp/employers>
(last visited August 28, 2021)

さらにスキマバイトアプリで注目を集めているのがタイミーだ。公式サイトによると、2021年8月時点の利用者数は200万人、導入店舗数は4万4,000カ所、利用企業数1万9,000社と、非常に人気が高い。採用企業や店舗にかかる基本手数料(交通費含む)は日当の30%で、求人掲載費や初期費用は無料、働きに来たワーカーを引き抜いた場合の手数料もない。

同社がサービスを開始したのは2018年8月で、その後約2年間で総額30億円以上の資金調達を達成している。2021年8月にはKDDIが「KDDI Open Innovation Fund 3号」を通じてタイミーと投資契約書を締結、さらに同年9月には伊藤忠商事が同社への出資および提携を発表しており、働き手の利便性の向上につながるサービスの拡充が期待される。

タイミーの仕組み



出所：伊藤忠商事ウェブサイト <https://www.itochu.co.jp/ja/news/press/2021/210910.html>
(last visited September 12, 2021)

クラウドソーシング

クラウドソーシングとは 2005 年に米国で誕生し、Wired という雑誌で定義づけされた用語で、不特定多数の集団 (crowd) から仕事や寄付金などを得るプロセスのことをいい、通常オンラインで一連の手続きが行われる。クラウドソーシングサービスを介して仕事をする人をクラウドワーカーという。

日本では、リアルワールドが 2008 年にクラウドソーシングサービス「crowed」を開始したほか (2021 年 8 月現在、サービス停止中)、「ランサーズ」も同年に、そして、2011 年には「クラウドワークス」がサービスを開始している。

ランサーズは取り扱っている業務がデザイン制作、ウェブ制作、システム開発、ライティングなど 200 以上と広範囲で、これまでの仕事の依頼件数は 200 万件を超えるまでになっている (2021 年 8 月現在)。利用方法にはプロジェクト方式 (仕事依頼に対する計画を募集し、仕事をする人を選んでから作業を開始する方式)、コンペ方式 (複数の提案を集め、そのなかから気に入ったものを選ぶ方式)、タスク方式 (単純作業を依頼し、多数の人が同時にひとつの依頼作業を行う仕事方式)、スキルパッケージ方式 (納品形式とビデオ相談形式がある) の 4 種類がある。

クラウドワークスは 200 種類以上のカテゴリを取り扱い、利用企業は 72 万社に上る (2021 年 8 月現在)。利用方法には、コンペ方式、タスク方式、プロジェクト方式 (固定報酬または時間単価) がある。

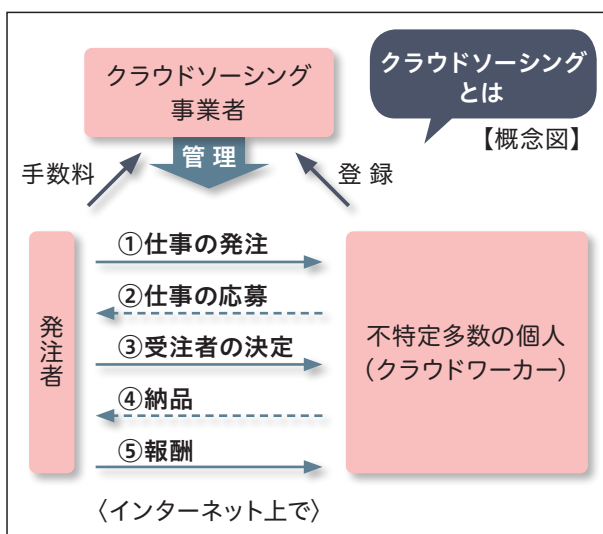
以上の 2 社のほかにも、ワンコインでスキルを売ることができると謳う「ココナラ」、スキルを活かした副業が探せるマッチングプラットフォームの「WorkAny」など、多くの企業がこの分野に参入している。さらに、デザイナーやクリエイター専門の「Crevo」、翻訳サービスに特化した「Gengo」など、専門分野でクラウドソーシングサービスを展開する企業も多い。

ランサーズが実施した「フリーランス実態調査 2021」によると、日本のフリーランス人口は労働人口の 24% にあたる 1,670 万人で、2018 年から 500 万人程度増えており、クラウドソーシング市場も拡大しつつある (ランサーズ 2021)。

しかし、拡大の一途をたどる市場の一方で、課題も出てきている。

仕事を発注する企業側からは、クラウドソーシング認知不足による理解のハードルがあること、IT スキル・リテラシーが不足していること、発注スキルが不足していること、品質面での不安などが課題として挙げられている一方で、クラウドワーカー側からは、依頼内容が明確でないこと、

クラウドソーシングとは



出所：機関紙連合通信社 2017 年 1 月 19 日

依頼内容に大幅な変更があること、納品後の修正が多いこと、著作権の取扱いが明確でないことなどでトラブルが発生したケースがあるという報告が寄せられている(クラウドソーシング協会 2018)。

発展が著しい HR テクノロジー

HR テクノロジーとは、給料の支払い、労働力分析、タレント・アキュイジション(優秀な人材の獲得)、人事管理、業績管理、福利厚生を含む、組織で働く人に関わるあらゆる側面を自動化するためのソフトウェアとハードウェアの総称であり、2010 年代に入ってから米国を中心に発展してきた。

HR テクノロジーに使われる技術には、ロボットによって事務作業を代行し自動化する技術の RPA (Robotic Process Automation の略)、人間と同じ知能を持つことで人間と同じ動作が可能となる技術の AI(Artificial Intelligence の略)、利用者のパソコンにインストールを必要とせず、サービスをインターネット上で利用できる技術のクラウド・コンピューティングなどがある。

米国では 100 種類前後の HR テクノロジーがあるとされているが、求人サイト CareerBuilder によると、HR テクノロジーの種類はコア HR テクノロジーとタレント・マネジメント・テクノロジーに大別されるという³。

コア HR テクノロジーに含まれるのは、給与計算、勤怠管理、労働力管理、付加給付管理、人事情報システム、組織チャート、データ分析などで、基本的な HR ツールが含まれる。一方、タレント・マネジメント・テクノロジーに含まれるのは、ソーシング、ATS(Applicant Tracking System)、オンボーディングといったタレント・アキュイジションや人事異動に関わるツールが含まれる⁴。

日本では、クラウドでリアルタイム勤怠管理を行う「KING OF TIME」(運営はヒューマンテクノロジーズ)、クラウド型人事労務管理を行う「freee」、マネーフォワードが提供する SaaS 管理サービス「マネーフォワード IT 管理クラウド」など、続々と高性能の HR テクノロジーが出てきている。今後、インフラストラクチャーが整えば、日本においても HR テクノロジーの普及が加速度的に進むのではないだろうか。

³ CareerBuilder, “What are the 20 Most Important Types of HR Technology?”
<https://resources.careerbuilder.com/recruiting-solutions/best-hr-technology> (last visited September 12, 2021)

⁴ 前掲 3 CareerBuilder

〈出所・参考〉

MyRefer <https://i-myrefer.jp/>

back check <https://backcheck.jp/>

農家のおしごとナビ <https://www.agreen.jp/>

ウォンテッドリー <https://www.wantedly.com/>

ジョブカン <https://jobcan.ne.jp/>

おてつだいネットワークス <https://otet.jp/info/index.html>

ショットワークス <https://shotworks.jp/>

タイミー <https://timee.co.jp/>

ランサーズ <http://www.lancers.jp/>

クラウドワークス <https://crowdworks.co.jp/>

ココナラ <https://coconala.com/>

WorkAny <https://workany.jp/>

Crevo <https://crevo.jp/>

Gengo <https://gengo.com/ja/>

ランサーズ 2021 ランサーズ「フリーランス実態調査 2021」(2021 年)
https://speakerdeck.com/lancers_pr/huriransushi-tai-diao-cha-2021
(last visited October 3, 2021)

クラウドソーシング協会 2018 クラウドソーシング協会「クラウドソーシングの活用の広がり」と課題認識」(2018 年)
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11909500-Koyoukankyokuintoukyoku-Soumuka/0000197107.pdf>
(last visited September 12, 2021)

CareerBuilder, "What are the 20 Most Important Types of HR Technology?"
<https://resources.careerbuilder.com/recruiting-solutions/best-hr-technology>
(last visited September 12, 2021)

KING OF TIME <https://www.kingoftime.jp/>

freee <https://corp.freee.co.jp/>

マネーフォワード <https://corp.moneyforward.com/aboutus/>

Works University

日本の人材ビジネス

08 新領域サービス

執筆/Keiko Kayla Oka (リクルートワークス研究所 客員研究員)

監修/村田 弘美 (リクルートワークス研究所 主幹研究員)

表紙・制作/中元 杏奈 (リクルートワークス研究所)

発行日/2021年11月10日

発行/リクルートワークス研究所 グローバルセンター

〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17

リクルートGINZA8ビル

株式会社リクルート

TEL 03-6835-9200

URL www.works-i.com/

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

©Recruit Co.,Ltd. All rights reserved.

参考資料等に掲載しているURLは各ホームページにリンクしております。

ただし、ページの移動もしくは閉鎖している場合がございます。

(最終リンク確認:2021年10月)